



拓け！自らの可能性

～社会参加に向けて～

進路だより 第2号

令和4年9月30日発行

だて支援学校キャリア支援部

第10回特別支援学校作業技能大会に参加して

8月5日(金)に第10回特別支援学校作業技能大会がビッグパレットふくしま他で開催されました。本校では、<ビルクリーニング>部門のダスタークロス、テーブルクロスに4名、<喫茶接遇サービス>部門に1名が参加しました。出場した生徒たちは、初出場の緊張の中、短い期間の練習にもかかわらず、日ごろの練習の成果を十二分に発揮してくれました。競技を終えた後に流した涙は、次へのステップとなることでしょう。

高等部 2年1組
M・S

私は、作業技能大会に初めて参加しました。メガネケースを作業学習の時間と夏休みで一生涯懸命作りました。縫い始めの場所と色合いが難しかったです。

残念ながら当日は参加できませんでしたが、先生から銅賞を取ったと聞いた時、とてもうれしかったです。

この経験を生かし、買っていただいた方に長く使ってもらえるよう、これからも製品を作っていきたいと思えます。ご指導くださった多くの先生方、ありがとうございました。

祝 作業技能大会受賞



<革工製品>部門
最優秀品質賞「印鑑ケース」

高等部 1年1組
S・H

僕は品評部門に参加しました。桃型コインケースという製品作りに取り組みました。桃の形をしたケースです。コインケースを作る上で大変だったことは、のりが外側に出ないようにすることや、はさみで桃の形をきれいに切り取ること、線に沿って穴を正確に空けることが難しかったです。品評部門に出す物なので、間違いがないように注意しました。時間と集中力が必要な作業でした。

桃型コインケースは金賞を取ることができました。とてもうれしかったです。努力した結果がかえってきました。協力してくれた先生方に感謝しています。

感想は、きちんと真剣に作業に取り組めば良い結果が出るということが分かりました。次に出す時は、もっと集中して最優秀品質賞が取れるように、日々の作業や授業をより大切にしようと思いました。



<革工製品>部門
金賞「桃型コインケース」



<手工芸製品>部門
銅賞「だてな めがねケース」

高等部 1年2組
I・R

僕が作業技能大会に向けて取り組んだことはビルクリーニング部門のダスタークロスとテーブルクロスです。

ダスタークロスの作業をしていて大変だったことはフレームに沿ってダスターをかけることです。フレームに当てず、離れすぎないようにすることが一番難しかったです。繰り返し練習をしてできるようになりました。

作業技能大会に参加して最初は緊張していましたが、自分の番になり練習したとおりに作業ができました。夏休み期間中などに一生懸命練習をがんばってよかったです。

この大会でダスタークロス2級、テーブルクロス1級を取得することができました。ご指導くださった先生方、ありがとうございました。



<ビルクリーニング部門>



<喫茶接客サービス部門>

高等部 2年1組
H・A

私は、今回初めて作業技能大会に参加をしました。喫茶接客サービス部門に出場しました。

練習にあまり参加できませんでしたが、先生に教えてもらった基本的な事を思い出して大会に取り組みました。

初めはすごく緊張して、不安がいっぱいでしたが、最後まで集中して頑張ることができました。ご指導くださった先生方、ありがとうございました。



作業技能大会報告会

【お知らせ】 ○第2回保護者進路研修会 11月9日(水) 9:00~9:50

○年金セミナー 12月6日(火) 13:30~15:00

※近くなりましたら、それぞれ案内を配付します。

進路座談会

キャリア支援部 江田綾

9月2日(金)にPTAとの連携事業として「進路座談会」を開催しました。

主な内容としては、①高等部産業現場等における実習の様子のVTR視聴と校外実習の流れについて ②高等部3年生の進路が決定するまでの流れについて ③キャリア教育について の大きく3点をキャリア支援部より説明をさせていただきました。

その後、高等部の保護者様より校外実習についての経験談をお話いただきました。本人の気持ちに添って、実習期間を3日間、5日間、10日間と段階的に延ばしていったことで、安心してステップアップすることができたとの話がありました。また、本人のできることを作業内容として設定してくださったことで、意欲的に実習に取り組むことにつながったとの話がありました。

今後も、保護者様同士で情報交換などができる場として継続していきたいと考えておりますので、御要望や御不明な点等をお知らせいただければと思います。

以下に、保護者の方々からいただきましたアンケートの感想等をいくつか記載します。

(小学部) 見通しが持てずに不安でしたが、話を聞いて少し見通しが持てるようになりました。

(中学部) アセスメントや将来のことなど色々と知れて良かったです。まだ先のことかと思っていましたが、具体的に考えてみようと思います。

(高等部) わかりやすく説明いただき、とてもよく理解できました。全学年で色々な話が聞けるのが、心強いと思いました。



福祉施設等事業所見学会

7月29日(金)に、児童生徒一人一人のキャリア支援を考え、進路に生かすために、教員対象の事業所見学を行いました。今年度は、「有限会社 すずらん工房」と、「社会福祉法人ひろせ福祉会 工房ひろせ」を見学しました。



「今の学びを将来につなげる」

小学部 菊池敬

すずらん工房では、飲食店部門と手工芸品製造部門を見学させていただきました。とても美味しそうなパンが並んでいたり、骨董品も販売されていたりしていました。コロナの対応に日々苦労しているとの話がありましたが、利用者の皆さんは、広い空間で生き生きとした表情で製品づくりをしていました。

工房ひろせでは、部品組立やボンせんべいづくりなどの様子を見学させていただきました。利益を生み出すために、農作業や清掃作業等の様々な仕事を利用者の特性に合わせて取り組んでいるとのことでした。利用者の方が、自信を持って私たちの質問に答える姿が印象的でした。

これらの中で、私は以前に担任をした方に会うことができました。今年度から勤め始め、電車が動かない時もがんばって通勤していたそうです。作っている製品を自分から紹介していました。このような様子から、小学部の段階からも高等部卒業後の姿を見据えた学びを提供し、将来につなげていくことが大切であると感じました。